

町づくりの 考え方?



伊藤 宗次 議員

問 豊かな行政経験を訴え町長になられ、所信表明では、一步先の幸せのまちを実現できます。その具体的な内容とプロセスは。

当分の間、町民には我慢だと。その当分の間はいつまでか。

行革でピンチをチャンスに変えると。行革は救いの神の手か。行革の理念は何か。

町民に我慢と負担の押しつけ。財政厳しいから何もせざ耐えるを求める町政でいいのか。

答 福祉への思いを語り、才までは自宅保育だ。幼保一元化では、福祉の質を低下せ、切り捨てるものだ。

行政施策を見直し、所信表明の8つの誠実を一つ一つクリアすることを、幸せな町を実現したい。行政改革で事業を取捨選択することにより、期間も短くなつてくる。

新たな取り組みで、恩恵を受けるものもある。それが行革のステップである。税収に見合ったバランスのよい行政運営で、町民の皆さんに喜んでいただける施設をすすめていく。

福祉事業や保育事業関係は、必要なものなどを見極め検討していく。

問 町長のビラは「今すぐの合併は考えてない」だが、自立のまち・幸田の確たる信念がうかがえない。いずれは合併し、愛する幸田町を投げやり、消して

だ。
幸田町は、手の平に乗り、住民の顔が見え、台所、暮らしが見えるまちだ。

近隣市にお世話になつている感覚は、自立に誇りと自信が持てぬ表明であり、卑屈である。

対等平等、互恵が自治体間の信頼の原則だ。

将来的には、すすめざるを得ない時期が来ることも予測される。しかし、今すぐの合併は考えてない。

町として持続可能で、頼の見える行政がやれることが一番いいと痛感している。

問

耐えるだけの町政でいいのか

答

バランスのよい運営すすめる

自立のまち・幸田の信念を問う。



町の中心部

**今すぐ合併は
考えてない**

答 合併問題は、近隣市と本町の行政水準がどの位置にあるかを一番根底に置いて考えていく。

将来的には、すすめざるを得ない時期が来ることも予測される。しかし、今すぐの合併は考えてない。



大須賀 好夫 議員

問 新町長の政治姿勢と公約実現を

答 「8つの誠」を実行する



老人クラブの運動会

(1) 本町の舵取り役として、手腕を大いに期待するが、その指針となる政策の実現は。多くの公約のうち、行政刷新・行政改革などを進めることを期して、手腕を大いに期待するが、その指針となる政策の実現は。

(2) 先例の踏襲主義を中心とする事業をすすめる。清潔で機動力あふれる町政を推進していく。

(3) 広域行政の重要性は一段と増すと考えるが、関係市と合併を協議していく考え方。

(4) 3万8000人の町民が夢と希望を享受し、内外に自慢できる町づくりを町民にどうすすめていくのか。

(1) 財政運営を重視し、IT化の推進と行政サービスの充実で事業をすすめる。清潔で機動力あふれる町政を推進していく。

(2) 先例の踏襲主義を中心とする事業の必要性を検討し、事業仕分けをする。

(3) 全局的な組織体系も新しいニーズであり、職員の能力が出せる組織を検討する。

(4) 現在、合併は考えていない。



平成20年8月末豪雨で広田川が決壊

の「誠」を実行していく。

水野 千代子 議員



問

子宮頸がんワクチンの助成を

答

近隣の動きをみていく

問 住民の健康管理の意識を高めるとともに、経済的負担を軽減するため、以下を問う。

- (1) 女性特有の乳がん・子宮頸がんが急増している。早期発見・治療のため、乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポン継続を。
- (2) 子宮頸がんは、予防ワクチンが承認されてい。
- (3) 前立腺がん検診に、無料クーポンを。
- (4) 小児の細菌性髄膜炎を予防するビブワクチンの助成を。
- (5) がん検診率向上の取り組みを。

答 町長 (1) 国の方針、

近隣の状況、予算をしんしゃくし、継続方針で検

- (1) 12歳ごろに3回接種が必要であり、負担軽減のため公費助成を。
- (2) 予宮頸がん検診に、無料クーポンを。
- (3) 小児の細菌性髄膜炎を予防するビブワクチンの助成を。
- (4) がん検診率向上の取り組みを。

答 討していきたい。

(2) 平成23年度から近隣市町の一部で動きがある。吟味してよく検討する。

(3) 国は、検診対象としていないが、何らかの支援ができるべきだと考えている。

(4) 財政事情、国の動き、近隣の動きをみて検討する。

(5) 新たな視点で、いろいろな提案をしたい。

健康福祉部長

新たな視点で、いろいろな提案をしたい。

休日保育の実施を



胃がん検診

なるべく早く
実施したい

答

健康福祉部長 (1)

昨年度は、「こんにちわ赤ちゃん訪問事業」で4カ月までの乳児356件すべてを訪問した。

参事 町では、子育て支援センター・民生児童委員・人権擁護委員・教育委員会などで対応している。NPO法人にも相談窓口がある。

総務部長 (2)

取得期間

中は無給となり、本町では考えにくい。

町長 (3)

「こんにちは赤ちゃん訪問事業」の拡大版を考えている。

(4) わしだ保育園の増改築に併せて検討していく。

- (1) 育児放棄による虐待や死亡事故を防ぐため、さまざまな子育て支援が必要である。
- (2) 男性職員の育児休暇を取り得できる環境整備で、育児に参加を。
- (3) 0～3歳児の自宅保育

への支援を。

- (4) 保護者のニーズに合わせ、休日保育、病児・病後児保育の実施を。



丸山 千代子 議員

問 保育園民営化は公的責任の放棄

答 保育と雇用の安定化はかる



坂崎保育園運動会

問 国民健康保険税は、高すぎて払いたくても払えない」と悲鳴があがっている。

所得に占める国保税の比率は、低所得者ほど高い割合で支払い能力を超える。均等割は、生まれると負担能力のない子どもにも課税される。

18歳未満の子どもは均等

子どもの国保 均等割なくせ

康保険には、国・県が5割相当分の予算を投入してい
る。生まれた瞬間から、保
険給付などの益を受ける以
上、ゼロにはならないとい
うのが、国民健康保険であ
り、軽減の考えはない。

康保険には、国・県が5割相当分の予算を投入している。

(4) 巡回保育士的な人をおき、子育て・保育の支援を考えている。

軽減の 考えはない

問 「子どもたちが未来に羽ばたく町」と公約した町長の、子育て支援と保育施策を問う。

(1) 保育ニーズに対応するのが、なぜ保育園の民営化になるのか。公的責任の放棄ではないか。

(2) 幼保一元化は、休日保育・病後児保育はどうすすめるのか。

(3) (2) の支援とは。

(4) 0～3歳児の自宅保育

(5) 児童クラブの充実とガイドラインは。

「子どもたちが未来に羽ばたく町」と公約した町 (3) (2) 幼保一元化は、休日保育・病後児保育

割の対象とせず、一般会計からの繰り入れによる軽減を。

0歳未満の108
人の均等割、年3万40

0円（医療分と後期分）の
廃止は3000万円あれば
実現できる。

答 町長 (1) 民間で、
れば民間でという考

を。



酒向 弘康 議員

問

どうすすめる「事業仕分け」

答

町民参加で公開する

**産業振興策は
緊急課題だ**



高浜市での事業仕分け

- (1) 所信表明の「徹底して、無駄を省き、ピンチをチャンスに変える」行財政改革を問う。
- (2) 財政状況の認識と「行政改革」の決意は。
- (3) 「事業仕分け」は、「経費捻出の手段か、町民、職員の意識改革のための手段」か。
- (4) 事務事業評価は、継続するのか。
- (5) 「事業仕分け」導入実施の時期といつの予算から反映されるのか。
- (6) 住民の声を聞き、「本当の無駄」を見極め推進を。

- (1) 財政が厳しい中、健全で次世代につながるよう取捨選択をすすめていく。
- (2) 自治体が生き抜くため

- (1) 財政が厳しい中、健全で次世代につながるよう取捨選択をすすめていく。
- (2) が一番大事である。
- (3) 外部からの評価を考え

- (1) わってもらい、実態のある仕分けをすすめる。
- (2) 町民や職員の意識改革
- (3) が一番大事である。
- (4) 住民に公開しすすめる。

- (1) 公約の「町経済を支える産業の活性化と産業基盤の充実」を問う。
- (2) 「産業振興施策」の取り組みの考え方。
- (3) 町内産品の「高付加価値化、ブランド化の維持拡大」の取り組み。
- (4) 企業誘致や新産業創造への取り組みの実績と成績は。
- (5) 計画的な工場用地の確保や手立ての考え。
- (6) 町が目指すべき、「定住化施策」の考え方。

- (1) 徹底的な行政改革と農業振興、新規産業の誘致したい。
- (2) 景気の動向に左右されないよう、新産業など幅広い分野の業種を誘致していく。
- (3) 生産者と市場関係者が協力し、商標名をとるなどして販売に努めていく。
- (4) 企業誘致をすすめることで安定収入の確保、雇用の機会も確保してきた。
- (5) 交通アクセスの利点を生かし、環境整備をすすめたい。
- (6) 魅力あるまちづくりを目指していく。

**幅広い分野の
業種を誘致
したい**



大嶽 弘 議員

問 道路上の樹木伐採対策は

答 パトロールで維持管理



交通の障害となる樹木

(1) 当局からみた町の長所と課題をどのようにみてあるか。
 (2) 緑の景観は必要と考えるが、交通安全面からみて道路上に生い茂る大きな樹木の枝は危険である。
 (3) 交通安全対策を近隣市町と比べ、水準をどう評価しているか。

(1) 地域主権の意味は。本町からみたこのメリットとデメリットは。
 (2) 産業振興、文化教育など各方面で近隣市町と新たに連携する事業は検討しているか。
 (3) ほかの市町には劣っていないと自負している。新たな取り組みとして、小学校周辺の通学路伐採作業など、親切班12人体制で維持管理している。

地域主権とは

のグリーンベルト化などにも取り組んでいる。

(3) 今年の夏まつりイベントは好評であった。
 今後の各種イベントの開催方針は。

町長 (3) していく。
 従来同様やつ
 具体的にはない。
 (2) 情報交換をしているが

一括交付金という使い勝手のいい財源が確保できるが、毎年予定どおり確保できていくか問題がある。計画立案の能力が自治体に問われ、事業の失敗の責任も取らなければならない。

地域のことは 地域で決める

総務部長 (1) 地域のことは地域で決め、実施することが地域主権の基本。

(3) 今年の夏まつりイベントは好評であった。
 今後の各種イベントの開催方針は。

問

新駅名を「しあわせ高」駅に

答

「相見駅」を基本に調整



山本 隆一 議員

(1) 4つの川が、高力地内うちで合流している。昔の土呂街道（現福岡町）には橋もなく、村人は船で渡り不便をしていたが、当時の大草神社宮司の高橋さんといわれた方が、私費で橋をかけ、その橋を「高橋」と名付けられた。

(2) 今の世知辛い世の中、この人情話しを全国に伝えるため、新駅の名前を「しあわせ高」または「幸高」としてはどうか。既存の幸田駅の呼称「こうだ」を「この際」「こうた」とすることを提案する。



新駅の完成予想図



開発の進む相見地区新駅周辺

答
総務部長 (1) 新駅誘致は、明治以来の悲願。平成19年3月にJRと基本合意し、平成23年度末開業に向け事業を推進中である。「(仮称)相見駅」という相見の名称を使ってお

(2) り、「相見」を基本に調査整している。駅名は、JRが最終決定する。駅名を変更すると、町として億単位の負担も想定されるので、確認の上検討していく。



池田 久男 議員

問 農業の活性化施策は

答 地産地消・特產品のPR



道の駅で特産品の販売

財政事情もあり、今のところ民間開発を中心で対応する。地の利を生かした展開をする考え方である。

問 本町の工場誘致は、先人の苦労で昭和40年代から、積極的な誘致がはじまり、優良企業誘致に成功した。

答
総務部長 (1) 特定
な業種に偏ると、景気の
変動で税収面での影響が
大きい。

先端企業で 展開

(1) 新産業、新規事業の誘致計画は。
(2) 経済不況下での誘致活動は。

常に有効な施策と考えて
いる。

問 地産地消の推進で、地元農業資源を生かし、地域の活性化を図ることが義務である。本町の対策を聞

(環境経済部長) (1)

さらなる 企業誘致を